

ひまかち

議会だより

NO.43

2020.10.15

発行編集：日之影町議会報編集委員会

私のモットーは、**一歩一歩誠実に**
(日之影町立病院 重永哲洋医師)

令和元年度決算認定・・・P2
保障制度等の創設を求める意見書・・・P5
決算審査員長報告・・・P4
一般質問・・・P6～7



9月定例議会

令和2年第3回定例会は、報告2件、同意2件、承認1件、認定8件、議案10件を審議し、原案どおり可決した。一般質問には3人が登壇し、町長に質問、9月18日に閉会した。

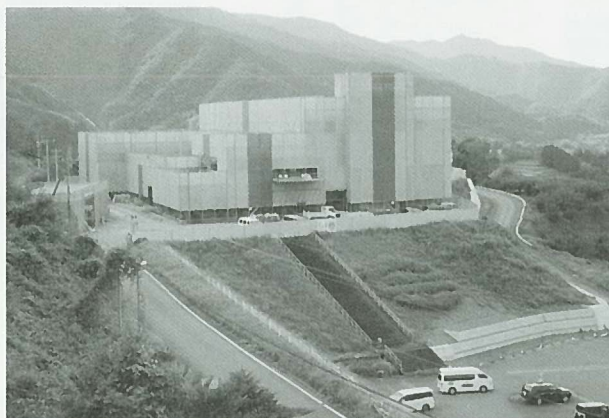
令和元年度
一般会計
歳入・歳出決算

厳しい財政状況の中、効率よく執行！

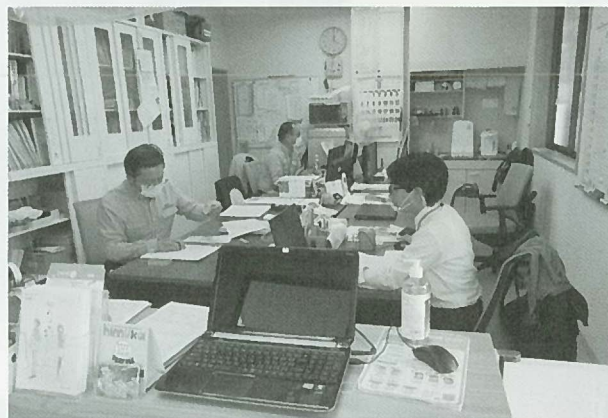
(歳入合計) (歳出合計) (差引額)
59億7237万円 - 58億8971万円 = 8266万円

差引額の内訳

- ◆ 公共事業等の繰越分 **3222万円**
- ◆ 基金積立金 **2600万円**
- ◆ 翌年度繰越金 **2444万円**



【順調に工事が進む新庁舎】



【道の駅に併設した観光協会】

■病院事業会計決算（収益的収支）

(収益合計) (費用合計) (差引額)
6億901万円 - 5億9426万円 = 1475万円

	年間患者数	1日平均患者数	病床利用率
入院	8,301人	22.6人	45.4%
外来	21,967人	90.8人	—

※一般会計補助金 **2億479万円** 内訳 (国 **1億2918万円**)
 (町 **7561万円**)

■特別会計決算概要

	歳入合計	歳出合計	差引合計
国民健康保険	6億1829万円	6億1134万円	695万円
簡易水道	7178万円	7038万円	140万円
奨学資金	1534万円	1533万円	1万円
農業集落排水	1491万円	1475万円	16万円
介護保険	6億9153万円	6億9054万円	99万円
後期高齢者医療	5759万円	5756万円	3万円

■総務文教常任委員会

1. 財政状況の総括と分析について
 (問) 財政状況の総括と効率的執行の実績と評価について伺う

(町長) 施策執行につきましては、各種事業の推進を図り、取り組んできた。財政面では、庁舎建設に係る事業等で、前年度より増額となったが、経費削減に努め、財政見通しや事業効果を考慮し、効率的な予算執行に努めた。

2. 安心して子育てができる環境の整備と教育の拡充について
 (問) 学校支援訪問や小中学校教職員合同による研修会の評価と課題について伺う

(教育長) どの学校においても、子ども達が積極的に意見を出し合う姿が見られるようになってきている。また、キャリア教育の推進により、日之影の良さを改めて知り、日之影を愛する心が醸成されている。課題は先生達が異動しても引き継いでいける体制づくりの確立と少人数における指導法の工夫やICT活用のレベルアップである。

3. 健康増進と福祉の充実、介護予防の強化について
 (問) 国保特定健診の未受診者の課題をどう捉えているか伺う

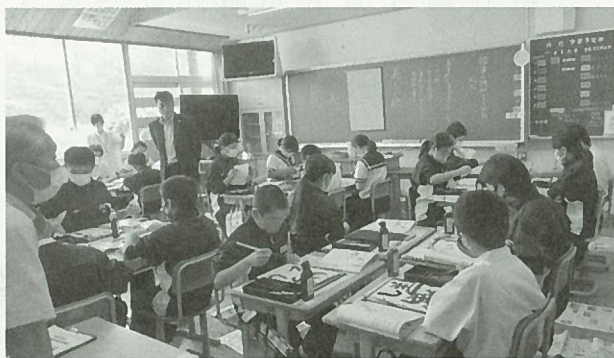
(町長) 昨年度の国保特定健診の受診率は70・3%で、年々増加し県内4番目の高さにある。未受診者の対

策として、戸別訪問や電話連絡等を行い、保健センター、病院との連携強化を図り、町民の健康づくりに努めた。

4. 防災、減災について

(問) 昨年度発生した火災や救急・救助等、避難所開設の対応、訓練等を含め、課題について伺う

(町長) 昨年度は、火災5件、救急108件、救助5件の発生と大雨・台風時の避難所を4回開設した。課題については、消防団員の減少や避難所開設時における役場職員のマンパワー不足等があげられる。今後とも、消防団・西臼杵広域消防・高千穂警察署との連携を密にして、情報共有を図り、安全確保に努める。



【日之影中学校授業の様子】

■経済建設常任委員会

1. 移住定住人口増施策の推進について

(問) 移住・定住についての問い合わせに対する実績と、それに伴う空家利用等の施策の実行について伺う

(町長) 人口の社会減少の抑制を図るため、生活環境や住環境の充実に努めた。空家バンクに33件の登録や移住者、子育て世帯の住宅整備に9件の助成等を行い、引き続き支援策を実施した。

2. 世界に誇れる自然環境を生かした観光、交流人口の拡大について

(問) リニューアルオープンした道の駅「青雲橋」は期待どおりに機能を活かしていると感じるが、直売所の出荷生産者の増加策並びに端境期の品薄の課題も含めた評価について伺う

(町長) 町独自の農産物認証制度などの取り組みにより、品目の充実、品質の向上に繋がっている。さらに併設した観光協会の情報発信、特産品開発等本町の魅力発掘、機能強化に取り組んだ。

(問) 交流人口の拡大について、案内人の育成と資質向上を目指した研修会によって得られた実績を伺う。

(町長) 本町を訪れた方々に魅力を最大限体感できるように案内人16人、資格所有者8人の登録を受け、研修会を開催した。自然環境や動植物の

調査、登山道の調査、道標の設置を行った。

3. 活力あふれる農林業と商工業づくりについて

(問) 商工業の振興については、商工会への支援を継続して行った、その実績と評価について伺う

(町長) 商工業の振興の中心的な役割を担う商工会への支援は、新規起業などの支援を行ったほか、空店舗等の利活用の促進、商品券発行等の継続支援を行った。

(問) 有害鳥獣対策は官民一体で対策を実施しているが、被害はまだ多い。猟銃免許保有者の減少、捕獲員の高齢化の課題について伺う

(町長) ワイヤメッシュ柵、電牧柵の導入支援を継続して行っている。狩猟免許の新規取得者の支援、若年育成にも対策を進め、捕獲班との意見交換も行っている。



【有害鳥獣対策の金網設置】

令和元年度決算審査特別委員会 委員長報告書

委員長 小谷 幸治

令和元年度の決算は、厳しい財政運営の中にあつて、第5次日之影町長期総合計画の前期計画の最終年度において、7つの重点施策の相互連携を図り、重点的、効率的に予算執行されている。

本町にとつて、約65年ぶりの新庁舎建設に伴い、公共施設等整備基金より1億8千830万円の基金を取り崩したが、基金の運用については、目的に沿い適正に執行され、財政の健全化判断比率も4項目すべて健全化基準を満たしている。

昨年度、町内では2件の山岳行方不明者捜索があつた。安易な登山や軽装等による遭難は消防団員への負担も大きく、捜査救助活動のための消防団員の出勤手当や食糧費及び消耗品等の費用については、当事者負担のあり方を、一考すべきである。

本町の基幹産業である林業については、令和元年度から森林環境増進税が創設され、多くの森林面積を有する本町にとつては貴重な財源であり、循環型林業の構築を始め、人材

育成・担い手の育成など、本町林業の活性化に生かされている。

また、地方創生等の業務委託については、費用に見合う結果が見えず課題が残る。若手職員、各種団体、公民館等との連携を図り、「我が町は誰かに、まかせられない」をコンセプトに、前例踏襲を見直し、地方発信の時代の到来と捉える。

言うまでもなく、行政と議会は車の両輪にたとえられるが、お互いの情報共有を図りながら、課題解決に取り組みとともに、町民の信頼に添えることが、更に求められる。



【再造林された山林】

同意二件

【教育委員の任命について】



・教育委員に
橋本和夫氏を再任
【任期】
(令和2年10月より
4年間)



・教育委員に
平野竜寛氏を選任
【任期】
(令和2年10月より
4年間)

■財産の取得について

・町内の小中学校において、情報通信技術の活用によるオンライン授業等多様な学習を実現するため、タブレット端末等の購入と校内通信ネットワーク環境の整備。(約6千200万円)

■「辺地に係る公共的施設の総合整備計画について」

・今回、八戸小学校の閉校に伴い、

新たに四ヶ惣地区(舟の尾・阿下・新町・椀木)が辺地の要件に該当し、現在の八か所(大瀬、小原、追川、見立、鹿川、大菅、星山、長谷川)に加え、四ヶ惣辺地に係る公共的施設の総合整備計画を策定するもの。



【改良が待たれる四ヶ惣地区の町道(阿下集落)】

※「辺地」とは

交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれない中山間地、離島その他のへんぴな地域で、住民の数その他について政令で定める要件に該当している地域です。
(国より財政上の特別措置(80%)がある)

令和2年度
補正予算

歳入・歳出補正額

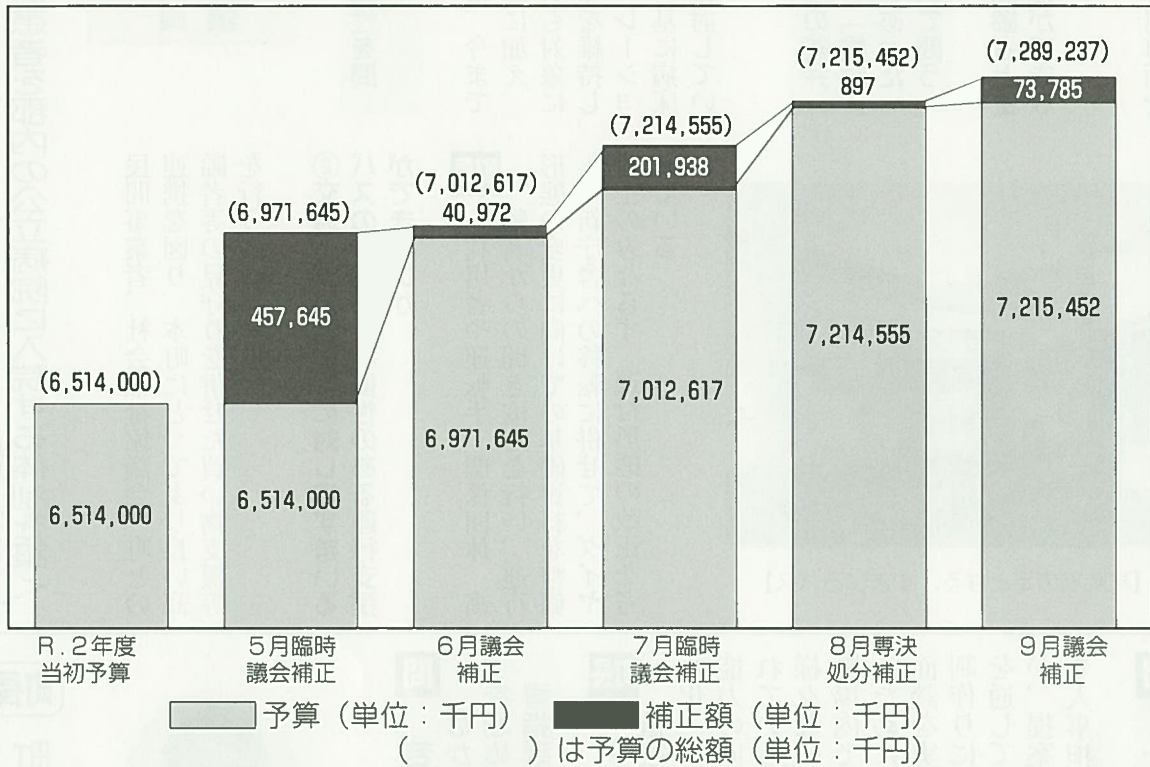
7378万円

補正後総額

72億8923万円

主な補正は、県単集落防災事業、県単土地改良事業、病院事業会計拠出金、町営住宅の修繕、大雨に伴う農地の災害復旧に係るものである。

令和2年度 予算額の動向



〈発議第6号〉

地方議会議員の保障制度等の創設を求める

意見書

第3回定例会本会議において、全国町村議員の保障制度等の創設を求める意見書を全会一致で可決しました。内容については地方議員の福利厚生や保障制度が全くない中で議員の「なり手不足」が全国で大きな問題と課題であることや政治や行政に関心をもち立候補する若い人材が保障環境の処遇等で立候補にためらうことも要因の一つでもあります。

また、平成23年6月で廃止となった議員年金についても、その保障制度に代わるものは制定されずに現在に至っています。

持続可能な町づくりと将来を見据えた環境づくりには次世代を担う人材が最重要な課題でもあることから、国に対して地方自治法の改正を強く求める意見書を提出しました。

全ては、後世のためにとの強い決意表明です。町民の皆様方のご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

西臼杵3町公立病院の医療連携は

町長 郡外等に流れていた患者を郡内の公立病院に入院する体制を築く



工藤 英信
議員

問 本町の医療連携の方向性を問う

町長 本町立病院については、今まで通りの外来診療及び入院に加え、町外の療養期対象の入院患者も対象にすることにより、現状の50床を維持し、経営も改善するというシミュレーションが提示されており、それを基に病床機能及び病床数等について検討している。

問 過去における一般質問の答弁で、次の2項目について「検討し改善を図る」とのことであったが、その経緯と対応について問う

町長 ①移動販売車両を導入し、高齢者と生活困窮者を見守り買い物支援ができないか

冷蔵庫が搭載できる専用車両を発売しているところであり、今後、



【高齢者の足となる、すまいるバス】

町長 民間事業者、社会福祉協議会、町との連携を図り、本町にとつてより良い高齢者等の見守りを併せた買い物支援等を行う。

②交通・買い物弱者に対してすまいるバスの効率的で利便性のある運行支援ができないか

町長 利用者や運転手、関係団体、高齢者からの聞き取りを行い、運行形態の変更に向けての基礎資料を整備し、新庁舎への移転に併せて、ダイヤ改正のみならず、運行形態の改正を考えている。

人材育成に更なる取り組みを

町長 町民の方々に寄り添える人材を育成していく



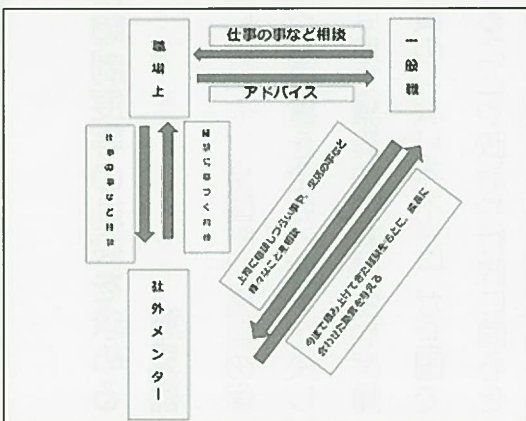
高館 英嗣
議員

問 若手職員が増えてきているなか、世代間での価値観の差を埋める為に本町が取り組む教育指導体制を問う

町長 少子高齢化の進展、町民の価値観の多様化や社会のグローバル化・情報化により、職員の資質や能力の向上がこれまで以上に求められている。町独自で接遇研修も含め、様々な研修を行なっている。更に、職場内でのコミュニケーションを図るために、令和元年度は若手職員と面談を実施し、働きやすい職場の体制作りを努めている。職場での実務を通して行う職場教育も行っているが、提案のあった社外メンター制度も人事担当を交えて検討していく。

問 一般職員の今後の求職率を高めるための施策を問う

町長 現在、採用試験につきましては本町のホームページ、宮崎県町村会、総務省のホームページなど、様々な媒体を介して広報している。今後、職員が活動している情報の発信を行い、役場で働くことの魅力を伝えていく。現在の社会情勢の流れが「地方回帰」の流れを生み出している。社会人枠の採用についても、協議を重ね、地元のみならず、都市部で生活している学生や若者が日影町に生活の拠点を置けるような取組を行なっていく。



【社外メンター制度の仕組み】

HINOKAGE GIKAI DAYORI

なり手不足解消へつなげ選挙公営改正

12月定例議会にて条例改正提案



甲斐議員
甲斐 陸彦

問 次期町長選挙へ向けての決意を伺う

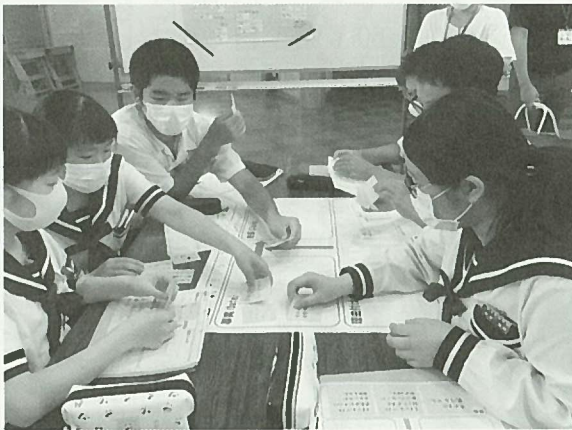
町長 コロナ禍の中で町民の皆様などへのご意見を伺っておらず、又、今日まで施策執行の検証が出来ていないのが現状であるが、今後は各方面からのご意見を拝聴し12月までに決意を固める。

問 選挙公営に関する公職選挙法の一部が改正され町村議員にも供託金制度が適応となった。その為には各自治体の条例制定の必要があり周知・財政面でも早期の条例制定が必要ではないか。

町長 地方議会の役割は益々重要となっている。今回の改正で多様な人材に立候補していただけるよう12月の定例会に於いて提案する。

問 新型コロナウイルス感染拡大を見越し県が定めているレベル0から4までにリンクした本町独自のステージ対応マニュアルを作る必要があるのではないかと伺う

町長 県と市町村の情報共有の内容と役割分担が示されている中、現時点の策定は考えていない。



【日之影中学校「ひのかげ近未来会議」】

第3回公立病院の広域医療等に関する特別委員会中間報告

◆委員長 工藤 英信

日之影町議会全員で構成される特別委員会では、委託業者である監査法人トーマツより、西臼杵3町公立病院の内部、外部環境分析の説明がされ、3町公立病院及び地域医療の将来予測、西臼杵郡における課題や問題点の整理及び解決の可能性についての説明があった。

〈委託業者の意見〉

既存の3町公立病院それぞれの機能や経営形態を維持・継続したままでは、将来課題に対応することが困難であり、3町公立病院の再編統合を視野に入れたあり方を検討していく必要がある。

〈今後の取り組みについて〉

検討グループ会議、公立病院部会での協議・議論がされ、今秋には解決プランが決定する。それを踏まえて、3町の住民の意見を聴く機会として「西臼杵郡における地域医療のあり方検討委員会」を開催するとなっている。(委員・住民代表、医療関係者、大学医局、行政、議会等)

〈総括〉

現在国は地域医療構想に基づき、公立病院の再編統合を進めており、具体的な再編統合の議論になった時には、地域政策の問題となり、地方自治上の課題となる。

一面的なデータによる無理な再編統合は地域医療を壊しかねなく、地域における多面的な議論を、地元住民と議会との意見交換会など重ねることが今後必要である。



【日之影町立病院】



【高千穂町立病院】



【五ヶ瀬町立病院】

所管事務調査報告

■総務文教常任委員会

〔期 日〕 令和2年7月21日(火)

〔場 所〕 高巣野小学校
日之影中学校

〔調査事項〕

①臨時休校による教育現場の影響について

②複式学級の現況と課題について

③生徒の減少による部活動の影響について

④宮繕等を含めた環境づくりの整備について

⑤今後の学校運営について

○高巣野小学校

臨時休校により教育現場の受けた影響については、50～60時間程度不足していたが、学校行事の見直し、指導方法の工夫、夏季休業の4日間の短縮により、学習の遅れはなくなる。

複式学級については、2年生4人と3年生9人の13人で学級としている。町単独予算で複式解消の先生を主要教科である国語、算数、生活、道徳担当として年間840時間配置している。完全複式の授業は少なく、児童の学力向上に結びついている。

校舎の宮繕を含めた環境は良好であるが、2階の渡り廊下がガラス屋

根で、温度対策として遮光ネットなどで遮っているが、更なる太陽光の遮断対策が必要と思われる。

また、新型コロナウイルス感染症対策としては、毎日検温のチェックをし、家でのチェックを忘れた児童には検温を実施、その他教室等の校内の消毒を2回実施している。

○日之影中学校

臨時休校による教育現場の影響については、高巣野小学校と同様に50～60時間程度不足していたが、学校行事の見直し、指導方法の工夫、夏季休業の4日間の短縮により、学習の遅れはなくなる。

生徒の減少による部活動の影響については、野球、男子バスケットボール、男女の陸上、女子ソフトテニス、水泳、吹奏楽部の6部で、部によつては人数に偏りがあり、男女のバレーボール部が休部状態となっている。

校舎の宮繕等を含めた環境は良好であるが、以前からグラウンドの水はけの悪い所が一部あり、改善方法の検討が必要である。

〔総括〕

高巣野小学校、日之影中学校とも校長の学校経営方針のもと、目標、課題への対策に向けた取り組み事項など充実した内容である。

■経済建設常任委員会

〔期 日〕 令和2年7月18日(土)、

19日(日)

〔場 所〕 高千穂家畜市場

〔調査事項〕

新型コロナウイルス感染症による市場への影響について

冒頭、JA高千穂畜産部長より最近の枝肉価格、子牛販売価格の状況説明を受ける。緊急事態宣言中は枝肉の需要が伸びないことから、保管庫の在庫過多の状態が続き新たな受け入れができず、子牛価格がピーク時より11万円の安値であった。しかし、最近では消費拡大策により在庫が減り価格の持ち直し傾向が見られる。また、西臼杵は全頭B1検査(注釈1)を実施しており、安心・安全の観点から商人からの信頼も厚く、7月市では県下家畜市場の中で高千穂市場の平均価格が最高の価格

で取引され、生産意欲の向上につながるかと考えられる。

しかしながら、今後の新型コロナウイルスの影響を想定しながら市場対策補助の拡充と消費拡大策を講じることが必要である。

(注釈1) B1検査とは牛白血病の検査のこと

〔期 日〕 令和2年6月26日(金)

〔場 所〕 新富町 本部農場

〔調査事項〕

バイオマスプラント事業について

本町でも懸案となっている堆肥処理について視察を行った。

本部農場は、ふん尿の処理をバイオガスプラントで行うことにより、液肥7割、再生敷料3割に分類し、おが粉購入費を削減するとともに、処理過程で発生するメタンガスを利用したバイオガス発電機を稼働させ電力会社に売電する計画となっている。

仮に、本町の和牛生産農家で導入を検討する場合には多額の費用が発生するため、解決しないといけない問題があると感じられたが、増頭の壁となっている堆肥処理問題を解決するには、放牧という手法も含め、行政のテコ入れが必要である。

表紙者インタビュー

◆◆◆ 重永 哲洋 医師（53歳） ◆◆◆

重永先生の専門は呼吸器内科で、一般内科の診察も行います。先生は、崎の原住宅に真弓夫人と住んでおられます。大学生のお子さんがいらっしゃいます。

Q 出身は何処ですか。また、趣味は何でしょうか。

A 宮崎市出身で、趣味は旅行とドライブとカメラです。特にカメラに関しては、写真を撮るのはもちろんですが、古いカメラを集めることも大好きです。

Q 医師を志したきっかけは何でしょうか。

A 祖母の御見舞いに県病院に行った時の、お医者さんの働いてる姿を見て目指しました。

Q 日之影はどんな印象ですか。

A ネット環境、道路環境の整備がしっかりと進んでいることに感心しました。そして、病院関係者から『おかえりなさい』と言われて感動しました。

Q 前回赴任した時と今回の赴任の違いは何でしょうか。

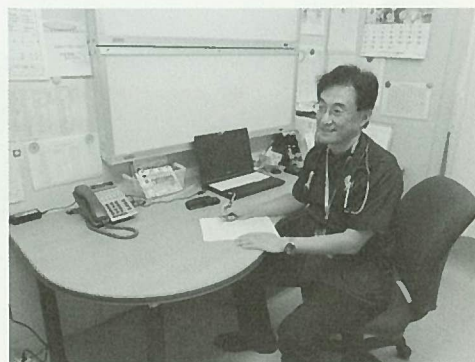
A 20年前は県の人事で赴任しましたが、今回は自分の意志で日之影町立病院に決めた事です。

Q 日之影町立病院に決めたきっかけは何ですか。

A 地域医療を充実させることが一番の目的です。また、2人の子どもたちにも自分の生き様をしっかりと見せたいと思った事もきっかけの一つです。

Q 最後に一言お願いします。

A 患者さんが主役だと思って診察してます。人と会話している時間も大好きなので、気兼ねなく診察にお越しください。



※写真撮影のため、マスクははずしています。

■議会傍聴のご案内

9月の定例会傍聴時には、引き続きマスクの着用等ご協力をいただきありがとうございました。次回の定例会は12月です。皆様の傍聴をお待ちしております。

また、議会に対するご意見等お聞かせください。

◎問い合わせ先 議会事務局 TEL87-3908

新型コロナウイルス感染症対策
で、短縮されて行われた小学校
運動会



【宮水小学校】



【日之影小学校】



【高巣野小学校】

台風10号による災害の現地調査
を行いました。



【水道管破損現場 八戸地区簡易水道】



【県道見立線仲組集落付近】



【倒木による電柱被害 煤市集落】

編集後記

「天高く馬肥ゆる秋」。
皆さんはどんな秋をお迎
えでしょうか？

議会も決算審査を終え、
早くも一期二年が終わろ
うとしています。審査結
果を踏まえ、新年度予算
編成に反映できる議会運
営に向け努力していきたく
と思います。農家では、
収穫期を迎え大変忙しく
なりますが、安全な農作
業に心がけましょう。

一水

発行責任者

議長 甲斐 徳仁

議会報編集委員

委員長 一水 輝明

副委員長 高館 英嗣

委員 工藤 英信

委員 小谷 幸治

委員 小川 輝久